

## 平成28年度 第2大島恵の園 事業報告書

### 1. 施設運営・支援状況報告

#### (1) 施設運営

法人理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に基づき事業を行った。

職員体勢は、新たな異動主任1人、異動支援員1人のほか、栄養士を含む新規採用4人で望んだが、6月末に契約環境職員1人、7月末に契約事務職員1人、8月末・10月末・12月末に正規男性支援員が各1人、9月末に契約支援員が1人、12月末に契約看護師1人が退職した。契約職員はいずれも伊豆大島在住の職員であり、島民の就業意識の難しさを感じた。正規職員はいずれも中堅男性であり、これからの事業運営に欠かせない人材であったが、自主都合や支援困難事例への対処の難しさを理由に挙げていた。法人理念にあるよう最後まで利用者に寄り添うことを行動原理とするが、支援困難事例への対処方法など、今後も支援意識と技術の向上に向けた研鑽を積み続けなければならない。職員数の不足については、継続的に契約支援員を募集したが、ご縁を頂き2月に男性支援員を1人採用、3月末には同じく男性支援員の応募を受け新たな補充に結びついている。

法人第4期中期計画（中間年度）については、施設経営目標を達成すべく現場職員が主体的に関わり、各々の役割や課題、目標を明確にしながらい進捗管理を進めた。また、何らかの事情により、生き難さを抱えた方々の支援は社会福祉法人の責務であり、広く地域福祉に貢献していくことが必要だが、本年度も大きな実績は残せなかった。また、大島地区の福祉ニーズを再検証した結果、成年後見の身上監護チームを大島恵の園と第2大島恵の園との協働により新たに設置し、島内にある福祉施設での活動を開始した。

昨年度から準備を進めてきた両園の新たなホームページは12月に完成し、一般公開となっている。家族会メーリングリストと新しいホームページの活用も併せて、より濃密な家族との情報交換を図るとともに、福祉関連情報や法人・事業所の情報を伝えたい。

設備面については、浴槽循環器の改修と消防設備の全面更新を行った。通常浴槽とは別に身体機能が低下した利用者の特殊浴槽については新たな購入を検討したが、価格が非常に高くリース契約の可能性も含めて新年度に検討を引き継ぎたい。脳波計についても更新が求められており、検討課題として残っている。

利用者自立支援は、引き続き恵の園・喫茶太平洋での実習を進めたほか、近隣商店、近隣企業でのアルバイト実習を行い、実績を重ね自信をつけた男性利用者1人が都内グループホームへの移行を決めた。

#### (2) 支援状況

82人の現員（定員）でスタートした。入退所は無く、健康面も安定した1年であった。利用者グループ体制は、引き続き障害程度に応じた男女混合の5グループによる濃密な支援体制を継続したほか、男女別の3つのフロアー制で広い視点からの支援を迫及した。施設入所支援では、利用者の潤いとゆとりある生活を目指したが、居室の生活環境や調度品のしつらえは、ご親族から度々ご要望をいただくなど、改善点が多数明らかになっている。日中生活介護でも、創作的活動等が何とか出来ている状況で、すべての利用者が生き生きと活動している状況とは言えず、職員配置や業務マニュアル見直しによる再構築が必要な状況にある。

一方で、利用者の平均年齢は本年度で50歳を超え、高齢化の様相は益々色濃くなっている。入浴における特殊浴槽の導入は今後必須である。

利用者旅行は、引き続き隔年で実施した。島内外の旅行を思い思いに実施している。

入所4年目となった触法関連男性利用者の支援は依然として困難を極めている。利用者や職員への暴言と他害行為、外出時の一般女性へのセクハラ行為、ネット利用者への誹謗中傷等が続いているが、神奈川県における元職員の入所施設利用者への傷害事件もあり、本年度は大島警察署に相談を行った。情緒が安定している際は、非常に協力的であり、他者を思いやることのできるだけに本人のこれからの支援をどのように再構築していくのか、関係機関との連携を今後も密にとりたい。尚、本人の暴力行為に対しては、警察署に何度か通報を行っており、その都度警察官が来園し説諭を行っていただいた。

### (3) サービス評価と苦情解決

福祉サービス第三者評価については、利用者聞き取り調査、保護者アンケート、職員アンケート、経営層合議を経て、標準項目を全て満たしているとの評価を得た。特に評価された点は、①「施設長通信（HOPE）の再開とホームページの改革の取り組み」②「日中活動としての絵画工作では『タコとイカ』と『筆島（集団製作）』の2点が海の絵コンテストで表彰された」③「施設は利用者の権利擁護の姿勢を明らかにしている」であった。

さらなる改善が望まれる点は、①「日中活動の活発化が望まれる」②「施設への不法侵入対策について」③「施設のマニュアルをより簡潔にすばやく使えるようにされたい」が挙げられた。

利用者・親族等からの相談苦情申し立てに対する対応と両園合わせて7人（1園3人・2園4人）の第三者委員の取り組みについては、毎月利用者の直接聞き取り相談日を設け、事業所として利用者の要望を聴取し、必要に応じて苦情解決規程に従って対応した。また年間で3回の合同委員会を開催し、期間中の相談案件の共通理解と改善に向けた話し合いの機会とした。

苦情解決責任者 施設長 岡部智彦  
 苦情受付担当者 課長 三澤朋洋

### (4) 情報開示

施設広報誌「潮の音」を季刊で発行し、法人と事業所の情報を家族や施設関係者に伝えた。家族向けには施設長通信「HOPE便り」を月1回発行し、利用者の詳細な近況報告に努めた。懸案となっていたホームページは、年度中に再構築ができ12月には両園同時に一般公開とした。大島両園の情報だけでなく、広く地域福祉の啓発に寄与できるよう発信内容を検討したい。

### (5) 予算執行報告

年度途中の利用者入退所が無く、短期入所利用も継続的に続いたため、収入面は非常に安定していた。人件費は、年度途中の職員退職が複数人いたため、結果的に予算の削減が可能となった。浴槽循環器のリニューアル工事や消防設備機器の更新、厨房用大型冷蔵庫の入れ替えを行ったが、結果的に最終の収支差額は前年度比増となり、法人による施設建て替えのための繰り入れと積み立てを本年度も継続できた。

## 2. 職員配置報告（平成29年3月31日現在）

### (1) 職種別配置状況

単位；人

\* 嘱託医師3名は、内科・皮膚科・精神科

\* ( ) 内は、有期契約職員

		施設長	課長	係長	主任	事務員	支援員	看護師	栄養士	嘱託医	環境	講師	世話人	合計
施設	男	1	1	1	2		13(5)			(3)	(3)	(1)		18(12)
	女				1	1(1)	6(2)	1	1		(9)	(1)	(1)	10(14)
	計	1	1	1	3	1(1)	19(7)	1	1	(3)	(12)	(2)	(1)	28(26)

## (2) 異動の状況 \*常勤換算人数(小数点以下切り上げ)

H28.4.1 現在の現員		年度内の正職員動向								H29.3.31 現在の現員		H29.4.1 付 着任			H29.4.1 現在の現員	
		採用		転入		退職		転出								
正職員①②含む A	契約職員*	年度内	4月1日付を再掲①	年度内	4月1日付を再掲②	年度内 B	3月31日付を再掲③	年度内	3月31日付を再掲④	正職員③④含む	契約職員*	採用⑤	移行者再掲	転入⑥	正職員⑤⑥含む	契約職員*
32	20	4	4	3	3	5	1	5	5	28	17	3	0	2	27	18

職員定数(常勤換算) 52人(H28年度事業計画)

正職員離職率(B/A) 15.6%

年度途中の正規職員退職者数は、男性4人(支援員)と女性1人(事務員)であった。いずれも自己都合による退職であるが、施設風土診断では「業務上のストレスが過大である」との診断結果が出ており、「役職者、一般職員にとって風通しのよい職場の必要性」「支援困難事例への対処力向上」が課題であると認識している。

## 3. 施設利用者報告(平成29年3月31日現在)

(1) 利用者 現員82人(定員82人)

(2) 性別・年齢別等 (人)

	~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ ~	計
男	0	2	0	3	1	18	11	5	5	3	2	0	1	1	52
女	0	0	1	1	0	8	1	5	5	5	2	1	1	0	30
計	0	2	1	4	1	26	12	10	10	8	4	1	2	1	82

平均年齢50.2歳(男性48.3歳 女性53.3歳)

(3) 障害程度等 (人)

		愛の手帳												計	
		1度		2度		3度		4度		なし		小計			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
身 障 手 帳	1級			1		1							2		2
	2級			2	1	1		1					4	1	5
	3級				1		1							2	2
	4級				2				1					3	3
	5級														
	6級														
	なし	1		24	9	11	13	10	2				46	24	70
小計	1		27	13	13	14	11	3				52	30	82	
計		1		40		27		14					82		

## (4) 支援区分 (人) 平均5.4

	障害支援区分						
	6	5	4	3	2	1	計
男	29	15	8	0	0	0	52
女	15	12	3	0	0	0	30
計	44	27	11	0	0	0	82

## (5) 中期・緊急一時保護等の利用状況

	中期保護事業(江東区)	東京都緊急一時保護	計
男	0 (0日)	2 (40日)	2 (40日)
女	2 (199日)	1 (30日)	3 (229日)
計	2 (199日)	3 (70日)	5 (269日)
利用延べ日数	199日	70日	269日

## 4. 会議報告

## (1) 法人関係

会議名	回数	開催日	参加者
施設長会議	6	4/20 6/15 8/24 10/19 12/21 2/21	施設長
事務会議	1	4/20	施設長・事務員
地区会議	8	4/27 5/25 7/27 9/13 11/14 10/14 1/17 2/10	施設長

## (2) 施設関係

会議名	回数	開催日	参加者
支援職員会議	8	4/28 5/20 6/23 9/16 11/30 12/26 1/27 2/28	全員
両園合同役職会議	9	4/11 5/9 6/13 7/4 8/8 9/13 10/3 11/29 2/6	施設長・役職者
合同事務会議	7	6/6 7/22 8/30 9/14 10/26 12/16 3/2	施設長・役職者・事務員
連絡調整会議	14	4/4 4/11 4/18 4/26 5/9 5/16 5/23 6/6 7/4 7/19 8/8 8/22 9/13 11/14	施設長・役職者
柘植寮・地域支援会議	2	4/19 6/21	施設長・役職者 世話人
グループ会議	53	4/12 4/15 4/18 4/19 4/22 5/10 5/13 5/17 5/24 5/25 6/9 6/10 6/14 6/19 6/28 7/10 7/13 7/14 7/16 7/21 8/18 8/24 8/27 8/28 8/30 9/6 9/13 10/2 10/12 10/16 11/7 11/13 11/18 11/20 11/24 12/8 12/11 12/13 12/14 12/22 1/8 1/15 1/17 1/20 1/28 2/2 2/8 2/18 2/20 3/13 3/16 3/21 3/24	主任・職員
リーダー会議	10	4/11 5/16 6/30 7/11 10/24 11/23 12/18 1/12 2/22 3/23	施設長・役職・リーダー
給食会議	4	4/14 5/20 6/21 12/16	施設長・課長 栄養士・厨房
フロアー会議	5	4/14 4/20 4/25 5/14 5/30	主任・職員

リスクマネジメント委員会	2	5/6 6/24	主任・職員
AV/IT会議	2	5/3 2/14	主任・職員
第三者委員会合同会議	3	5/14 9/10 2/11	施設長・課長
日中活動会議	1	4/13	主任・職員
衛生委員会	11	4/22 5/18 7/15 8/26 9/16 10/7 11/18 12/16 1/27 2/10 3/10	施設長・課長 ・係長
恵の園プロジェクト	7	12/15 1/24 1/26 2/3 3/6 3/14 3/18	役職者・主任・ リーダー

### (3) 社会福祉協議会

会議名	回数	開催日	参加者
めぐみ祭り実行委員会	4	4/4 4/12 4/18 6/7	施設長・職員
東社協総会	1	1/25	施設長

### (4) その他

会議名	回数	開催日	参加者
家族会役員会	10	5/22 6/26 7/24 9/4 10/9 11/6 12/11 1/8 2/5 3/5	施設長
家族会総会	1	4/17	施設長・課長
家族会新年会	1	1/15	施設長・課長
地域防災連絡会	2	9/14 11/1	施設長
都地域移行ブロック会	1	2/17	施設長

## 5. 研修報告

### (1) 施設内

研修名	回数	開催日	参加者
恵の園両園新任職員研修	1	4/1～4/3	新任職員
精神科研修	23	4/6 4/20 5/11 5/18 6/1 6/15 7/6 7/27 9/7 9/14 9/18 9/23 10/5 10/19 11/9 11/16 12/7 12/21 2/15 2/22 3/8 3/10 3/22	全員
新任救急救命講習	1	5/19	新任職員
新任歯科研修	1	8/22	新任職員
口腔ケア研修	1	9/27	職員
考課者研修（リーダー）	1	6/13	職員
皮膚科研修	1	7/28	全員
接遇マナー研修	2	7/25 10/7	職員
消防総合訓練	1	11/21	職員
実践事例報告会	1	11/26	全員
虐待防止研修	3	6/7 6/20 6/29	全員
理念研修	3	7/22 10/21 12/14	全員
メンタルヘルス研修	2	2/1 3/7	職員

## (2) 法人研修

研修名	回数	開催日	参加者
クレーム対応研修	1	6/11	事務員
武蔵野会セミナー	1	6/25	施設長・職員
栄養士研修	1	11/22	栄養士
新任大島研修	1	3/22～24	新任職員
施設長研修	6	4/20 6/15 8/24 10/19 12/21 2/15	施設長
虐待防止研修	2	6/28 1/31	主任
接遇マナー研修	2	7/25 10/7	職員
事務員研修	1	12/22	事務員
看護師研修	1	11/4	看護師・施設長

## (3) 外部研修

研修名	回数	開催日	参加者
東京大集会	1	9/10	施設長
多摩TS活動を考える会	1	11/5	施設長
近頃の若者と介護人材	1	11/10	主任
日本福祉大提携法人防災研修	1	11/15・16	主任

## 6. 保守点検及び修繕報告（10万円以上）

補修箇所・内容	金額（円）	実施月
居室トイレ前床張替え	135,069	4月
浄化槽交換	134,784	5月
小便器センサー交換	299,376	5月
福祉の森保守	896,832	5月
油槽マンホール蓋改修	112,925	6月
消防用設備保守点検	270,000	7月
電気設備改修	403,380	8月
屋上消防補助水槽配管修繕	141,480	8月
正門扉修理	244,188	8月
給湯配管ジョイント交換	162,000	10月
浴槽濾過循環器リニューアル工事	2,376,000	2月

車両保守点検については、常時整備された状態で使用する等、日頃から点検業務に努めた他、職員の安全運転教育を徹底することで事故防止に努めた。本年度は職員による車両事故はなかった。

## 7. 固定資産物品・備品購入

購入備品一覧	金額
小型卓上遠心機（医務）	169,560
エアコン1	148,820
エアコン2	148,820
エアコン3	148,820
エアコン4	148,820
エアコン5	148,820
エアコン6	152,280
エアコン7	176,580
業務用冷蔵庫（厨房）	483,408
業務用冷蔵庫（厨房）	596,160
自動火災報知機受信機（交換）	3,801,600
合 計	6,123,688

## 8. ボランティア受け入れ

年間を通じ受け入れを行った。一般ボランティアについては行事等のイベントが主だが、平日の通常利用者支援については、高校生が不定期で参加のみであった。又、年末年始の人員不足時に洗濯業務に参加していただいた地元の高校生には大変助けられた。

参加団体・行事名等	活動内容	人数
中平マリココンサート（5月）	音楽鑑賞	1
マンドリンクラブ演奏会（5/15）	音楽鑑賞	8
めぐみ祭り（5/28）	行事運営等	50
花かごクラブ（月1回）	利用者クラブ活動他	のべ12
大島海洋国際高校	利用者日中活動・音楽活動	10
慶応病院（7/24・25）	体験ボランティア	4

## 9. 実習生受け入れ

本年度の受け入れ実績については下表のとおり。新年度も積極的な受け入れを行いたい。

受入月日	要請施設・団体	人数
2/15	首都大学東京（見学）	15
3/6-18	湘北短期大学（実習）	2

## 10. 保護者との連絡報告

施設長通信「HOPE」を月1回発行し、施設利用者の状況報告に努めた。施設では両園の合同広報誌として「潮の音」を発行しているが、季刊であることと両園の情報が含まれているため速報性や内容に偏りがある。「HOPE」は2園独自の媒体であり、ご家族からは好評を得ている。

家族会役員会には施設長が月1回の割合で参加し、2園の状況を月ごとに報告した。この他、夏から秋にかけて家族面談を園内で実施。2月にはご家族が利用者とともに昼食を交えて楽しいひと時が過ごせるよう会食レクを実施した。家族の高齢化とともに参加者は減少傾向にあるが、貴重な機会として今後も続けたい。日常の連絡は、リーダーと役職者が連携し行っている。

## 11. 地域交流報告

### (1) 地域行事への参加

月日	内容	人数
7/2	みんなのレクリエーション（大島町社協主催）	28
7月中旬～	大島町南部地区夏祭り（盆踊り等）	82

通年（月1回）	大島ウォーキングクラブ	24
8/28-9/11	アートアイランズ東京2016（国際現代美術展）	15
12/4	ふれあい祭り（大島町社協主催）	18
9/18	敬老会（婦人会差木地地区）	5
11/5	福祉祭り（大島町社協主催）	10
1/29	椿祭りオープニングパレード	20

## （2）地域交流行事

月日	行事名	内容	人数
5/28	めぐみ祭り2016	アトラクション、各種模擬店、自主製品販売、バザー他。 本年度は、伊豆七島のイベント「島自慢」と実施日が重なり、ボランティアを含めて参加者が大幅に減った。	400
月4回	配食サービス	大島社協委託事業として実施。差木地、クダッチ地区の一人暮らし高齢者に月4回の昼食を配食する。利用者と職員が描いた絵手紙が好評を得る。	130

## （3）施設内行事報告

月日	企画	内容	人数
7-8月 12-1月	期間行事	夏季、冬季に合わせたレクリエーション行事	全利用者
12/17	クリスマス会	音楽コンサート等	全利用者
通年	季節行事・レク	暦の行事（花見、スポーツ等）	全利用者
2/5	故人を偲ぶ会	施設で亡くなった利用者を偲ぶ	全利用者

## （4）利用者旅行報告

利用者から希望を聴取し、身体・健康状況・季節等を配慮した旅行計画を立て、7月から12月にかけて21組42人の旅行（全利用者が1年おきに実施）を実施した。利用者の実態によっては島内旅行で対応した。今年度も親族との面会を旅程に組み込むなど、本人の個人的な旅行だけでなく親族との面会機会保障等を行った。年々旅行の費用が上昇傾向にあり、費用と内容の精査が必要である。

## 12. 防災・避難訓練

月日	訓練内容
5/24	継走連絡職員召集訓練
6/28	避難誘導訓練
7/19	避難誘導訓練
8/30	夜間想定避難訓練
9/20	避難誘導訓練
10/26	避難誘導訓練
11/21	大島町防災訓練
12/21	総合訓練（消火訓練）
1/19	避難誘導訓練
2/21	職員召集訓練

ほぼ年間予定通りに実施した。第2大島恵の園は、火山のお膝元にある福祉事業所であるため、日ごろから防災、減災の意識を高く保持する必要がある、特に夜間災害時の職員人数確保と利用者避難は繰り返し行うことにより、利用者が自主的に行動を起こせるように日頃の訓練が必要である。

伊豆大島では噴火周期（小規模30年・中規模200年）に入っていると言われており、島外避難を含めた計画と訓練が必要だが、全利用者の移動リスクを考慮し、発災時は園内待機が基本である。町の防災連絡会には施設長が参加し、情報収集を行っている。

昨年指摘された防災設備の修繕改修は、実施済みである。

## 13. 給食

年間計画に基づき、外部業者（一富士フードサービス）への調理委託を継続した。温冷配膳車を活用し、適温給食の提供に心がけたほか、ソフト食・軟菜食・刻み食等の食形態を準備し、利用者の咀嚼と嚥下に配慮した食事の提供を行った。選択食は週2回の割合で継続実施した。このほか、クリスマス会や夏冬のレクリエーションに合わせた季節メニューの食事を提供し利用者から好評を得ている。

家族親族向けには、グループごとの会食レクリエーションを実施し、普段なかなか飲食を共にする機会がない利用者にとっては家族との貴重な時間の共有となった。

#### 14. 健康保健

##### (1) 日常健康管理

日常の利用者健康管理は看護師が中心に行い、利用者健康状態の把握に努めた。大島という環境事情から救急車の到着に30分を要するため、疾病の早期発見に努めた。感染症予防の意識を徹底させるため、職員向けのスタンダードプリコーション研修を実施し、ガウンテクニックの学習を行った。そのためか、本年度もインフルエンザ・ノロウイルス等の感染症罹患報告はまったく無かった（継続2年目）

##### (2) 内科・精神科・皮膚科嘱託医等による往診

来園日は施設内で、利用者の診察を行った。緊急時あるいは島内での処置が難しい場合は、親族等の協力を得つつ、職員が都内の病院へ付き添いを行った。また、精神科や皮膚科医師による研修は、普段なかなか触れることが出来ない医療ケアの知識を学ぶ上で非常に有効であった。

コメディカルとして理学療法士を定期的に招聘し、利用者機能訓練と職員指導を行っていた。

##### (3) 定期健康診断

利用者と職員の全員を対象とした健康診断を9月に実施したほか、11月以降に住民健診で必要に応じて利用者のがん検診を行った。その他、ギョウチュウ検査や検便による細菌検査及びO-157検査を全利用者を対象に行った。歯科検診は近隣の南部歯科に通院し全員が実施した。

以上